

**京都産業大学**  
KYOTO SANGYO UNIVERSITY

経営学教育におけるアクティブ・ラーニング事例研究  
平成26年9月18日(木) 青山学院大学

「課題発見・解決を目指した大人数授業での事例」

佐々木 利廣 (京都産業大学経営学部)  
sasaki@cc.kyoto-su.ac.jp


1


**京都産業大学**  
KYOTO SANGYO UNIVERSITY

## 報告内容

- 対象科目の紹介
- 授業シナリオの基本的考え方
- 具体的なシナリオ設計
  - (1)ビデオ実習による課題発見・解決
  - (2)ショートケースによる課題発見・解決
  - (3)データ処理による課題発見・解決
  - (4)グループプレゼンによる主体的学修
- 現状での課題と今後の展開

2



**京都産業大学**  
KYOTO SANGYO UNIVERSITY

### 経営組織論(ミクロ)(マクロ)シラバス情報

配当年次・単位	2年次春・秋2単位(週2回レポート科目)
受講生数	1クラスで364名(2012年度)、2クラスで555名(2013年度)
ナンバリング	BBman204(インターメディアエイト科目)
到達目標	組織に関わる現象は我々日常の生活の中にも見ることができます。そうした現象を組織論の言葉で説明し組織に関する課題を解決するためのヒントを提供してくれるのが組織論です。組織論の多様な視点を理解しながら、複眼的視点で組織を見ることができるようになることが到達目標です。
身につく力	複雑な組織現象に内在する課題を発見し、その課題を解決するための方法を考える課題発見力 組織現象を多様な視点で見ることのできる論理的分析力
履修上の注意	この科目は、常に双方向授業を目指しています。そのためにほとんど毎回、実習やケースメソッド、ケーススタディ、ビデオ実習などを行います。ノートを写すよりも自分の頭で考えることを重視し、つねに自分の意見をもつことに興味を持つ学生が履修してください。
評価方法	定期試験80%+ケースメソッドやビデオ実習などの結果をもとに平常点20%+ミニプレゼン等プラス点をもとに評価。後期に行ったケースやビデオについてユニークな視点から分析したプレゼンを募集します。プレゼン希望者の数にもよるがプレゼン時間は15分程度

(京都産業大学2014年度シラバスより)


3


**京都産業大学**  
KYOTO SANGYO UNIVERSITY

### 経営組織論(ミクロ)授業計画

	経営組織論(ミクロ)	課題発見・解決の促進
1	経営組織(ミクロ)の概要と講義計画の説明	組織に対するイメージ対人関係志向チェック(FIRO-B)
2	ダイヤモンド・モデルによるミクロ組織の領域	
3	人間的アプローチと人間観・組織観・管理観の変遷	
4	モチベーション論(欲求内容論)	(3)データ処理によるモチベーションの計算とアップ策の考察
5	モチベーション論(欲求内容論)	
6	モチベーション論(欲求過程論)	
7	従業員の仕事意欲向上策	
8	リーダーシップ論	仮想実験
9	ケース研究①	(1)(2)ケースとビデオによる課題発見と解決策
10	ビデオ実習①	
11	個人学習と行動変容	学習と知識創造の過程について理解
12	知識創造過程	
13	ミニプレゼン	(4)グループミニプレゼンと受講生による評価
14	ミニプレゼン	
15	前期のまとめ	用語整理と全体把握


4


**京都産業大学**  
KYOTO SANGYO UNIVERSITY

### 経営組織論(マクロ)授業計画

	経営組織論(マクロ)	課題発見・解決の促進
1	マクロ組織行動の領域とテーマ	
2	人間関係論と小集団理論	(1)ビデオ実習による集団浅慮現象の理解と背後にあるメカニズムの理解と予防策の提示
3	集団浅慮による意思決定の罠	
4	日本企業のキャリア・マネジメント	(3)キャリアアトリーのデータ処理による企業の昇進昇格制度の特徴の検討
5	キャリア・マネジメントの日米比較	
6	組織構造の形態と新しい組織形態	(1)ビデオ実習によるネットワーク組織の長所と限界
7	戦略形成と組織の相互作用	(2)ケースメソッドによる構造的課題の発見と解決策提示
8	ケースメソッド	
9	組織文化と計画的変革	(2)組織変革ショートケースによる変革ステージと変革リーダーの役割の理解
10	変化への抵抗と組織変革の過程	
11	下からの組織変革論	
12	自発的組織変革過程と変革モデル	
13	マクロ組織論の新潮流	
14	授業のまとめと質疑	(4)グループミニプレゼンと受講生による評価
15	ミニプレゼン	

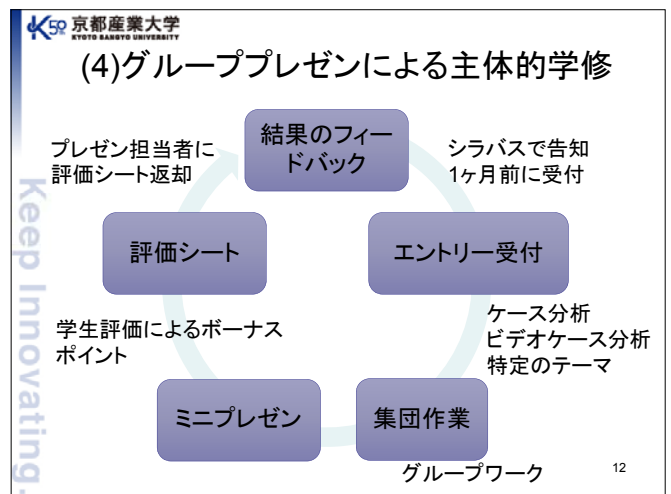
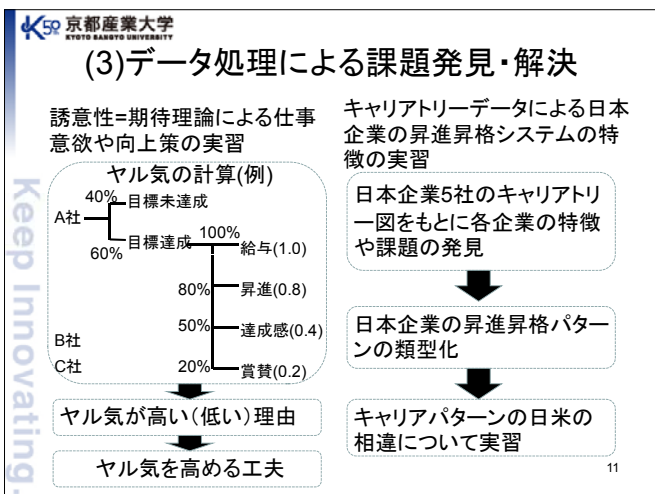
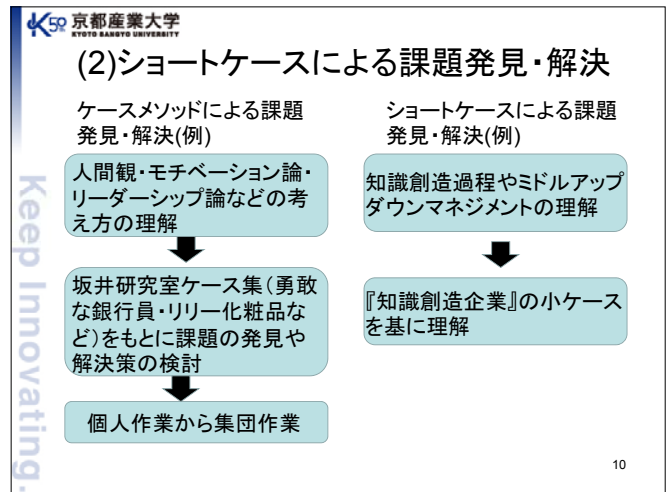
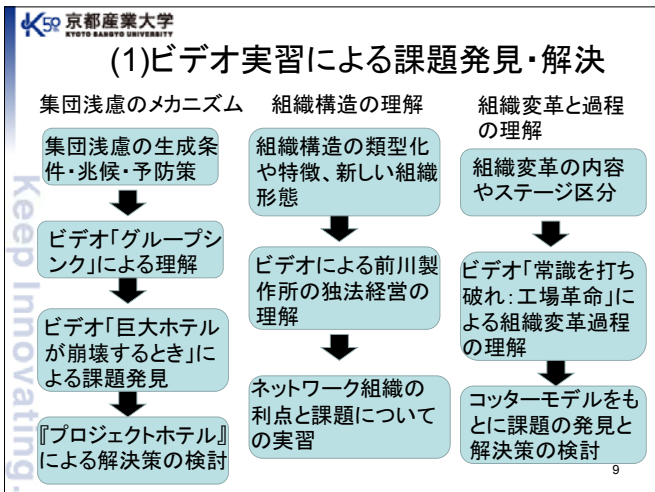
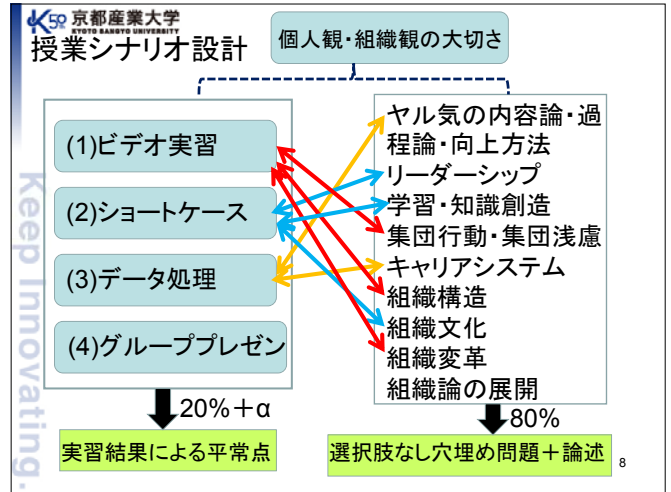
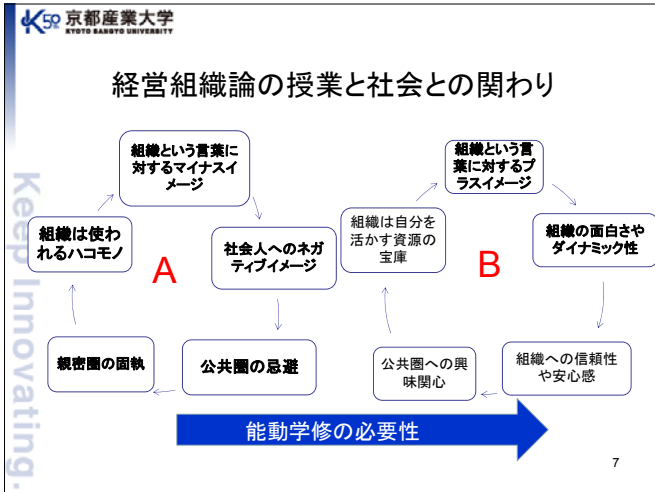
5


**京都産業大学**  
KYOTO SANGYO UNIVERSITY

### 授業シナリオの基本的考え方

- クラスをある組織と想定(クラス・マネジメント)
- 企業だけが組織ではない(身近な組織体験)
- 課題の発見も解決方法も多様(one best way はなし)
- 安全で信頼できる教室環境が受講生の主体性を促進する(意見を述べたい学生は必ずいる)
- 社会との関わりを常に念頭に置くことで社会人としてどう生き抜くかを考える(専門科目のなかでのキャリア教育)

6



## 現状での課題と今後の展開

- グループ討議やディベートなどへの展開
- 課題解決策に対する企業人からの批評
- 専門科目を通じてのキャリア教育の充実
- 組織や社会人に対するマイナスイメージの払拭の効果検証



経営組織論ケース分析  
組織間関係論